

専 門 教 養
令和 2 年 7 月
60 分

受 験 教 科 等
特別支援学校中・高 社 会

## 注 意

- 1 指示があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- 2 全て係員の指示に従って、静粛に受験してください。
- 3 机上には、受験票、筆記用具、時計以外のものを出してはいけません。
- 4 他の受験者の迷惑になるような行為、スマートフォン等の使用及び不正行為をしてはいけません。
- 5 解答時間は60分です。途中退出はできません。
- 6 問題冊子のページ数は、24ページです。はじめにページ数を確かめてください。
- 7 解答用紙に、**必要事項の記入やマークがない場合や誤っている場合には、解答は全て無効**となります。解答用紙の【1】の欄には、**受験番号を記入し、受験番号に対応する数字をマーク**してください。【2】の欄には、**氏名を記入**してください。ただし、【3】の選択問題を表す欄のマークは**不要**です。
- 8 この問題は、**教科等に関する問題** 1 ~ 3、**特別支援教育の専門に関する問題** I ~ IV の各問題から構成されています。
- 9 問題冊子の余白等は、適宜使用しても構いませんが、どのページも切り離してはいけません。
- 10 問題文中の「学習指導要領」は、特に指示がある場合を除いて、平成29年、平成30年又は平成31年告示の「学習指導要領」を表しています。
- 11 問題の内容についての質問には一切応じません。

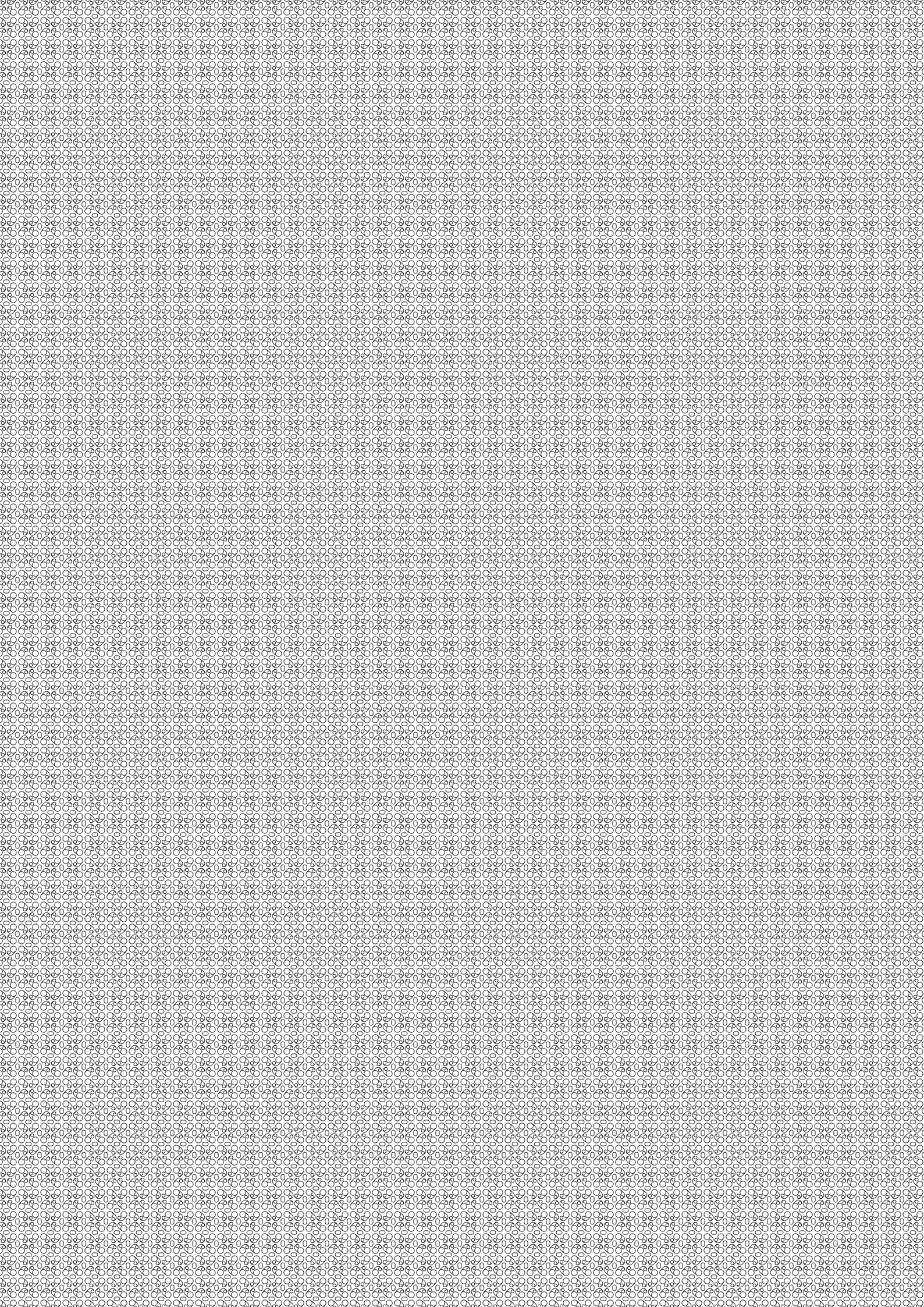
## 解答上の注意

- 1 解答は、問題文や解答用紙の注意事項に従って、解答欄にマークしてください。問題には、選択肢から選び解答する場合や、数字又は符号（-）を入れて問題文を完成させて解答する場合などがあり、解答方法が複数ある場合とどれか一つのみの場合とがあります。
- 2 「解答番号は 1。」と表示のある問に対して、3と解答する場合には、次の（例1）のように解答番号 1 の解答欄の③にマークしてください。

（例1）

解答番号	解答欄
<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1</span>	① ② ● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

解答上の注意の続きを、問題冊子の裏表紙に記載してあります。問題冊子を裏返して必ず読んでください。

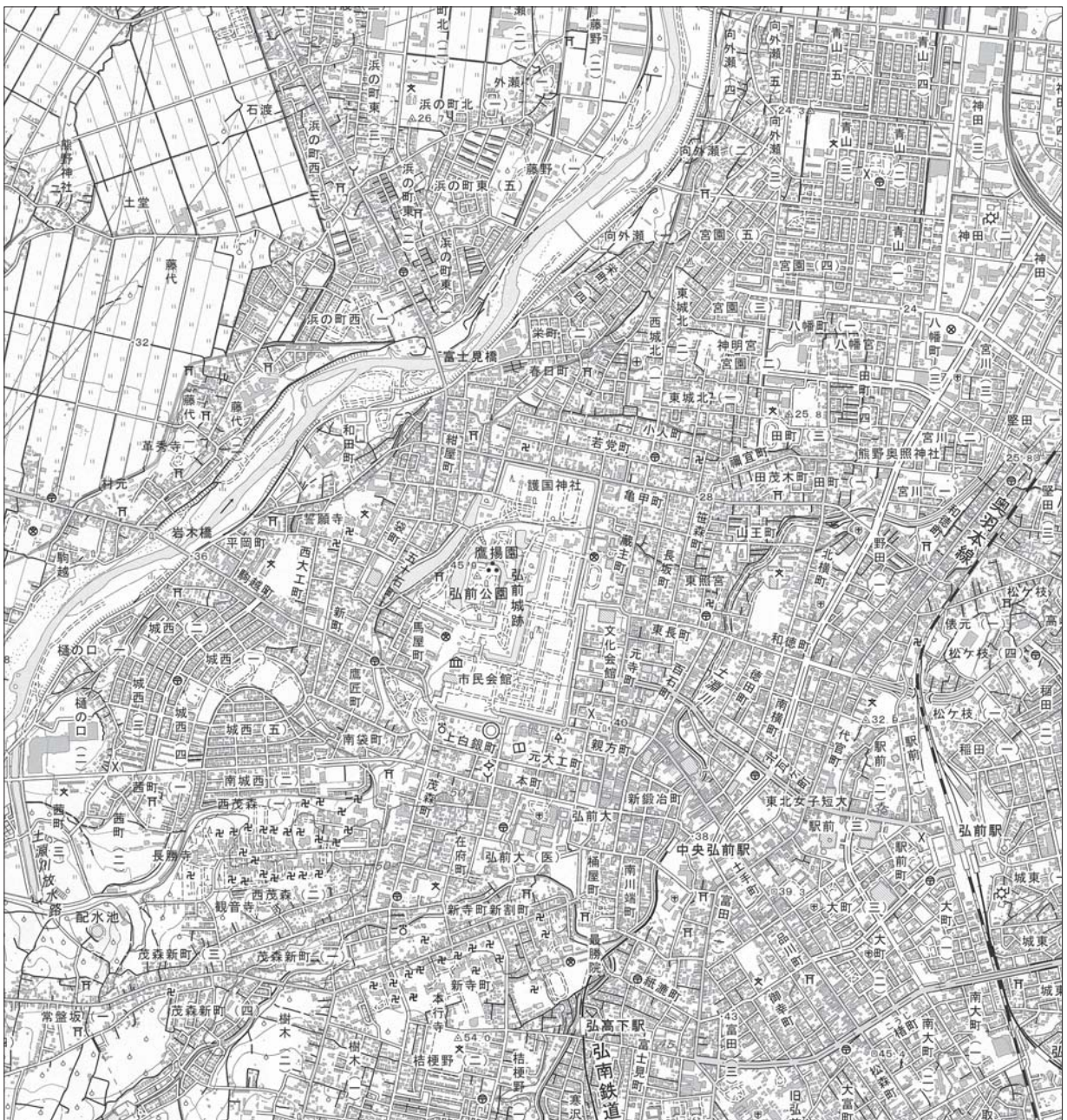


問題は、次のページから始まります。

## 教科等に関する問題

1 地理的分野に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 次の国土地理院発行の地形図の一部から読み取れるものに関する次のページの記述ア～オのうち、正しいものを選んだ組合せとして適切なものは、次のページの1～0のうちどれか。解答番号は  。



(1 : 25,000 「弘前」平成28年発行から作成)

- ア** 岩木橋のかかる河川の右岸に位置する城西地区は、計画的に造成された住宅地区で、規則的に建物が並んでおり、かつて河川の流路であった痕跡は見られない。
- イ** 弘前公園の北東方向にある若党町の郵便局から八幡町（三）の警察署までの直線距離は、約4 kmである。また、標高差は約4 mである。
- ウ** 奥羽本線の弘前駅の東側には、私鉄の駅が隣接しており、ここを出発する列車の進行方向に向かって右側には、発電所に続いて神社がある。
- エ** 弘前城周辺は、町人町や職人町の地名や、寺町や丁字交差が見られることから、かつては、商工業的、軍事的機能を備えていたことがうかがえる。
- オ** 弘前城跡の南側は、官公庁の集中する行政の中心地区であるとともに、博物館や図書館、市民会館も見られる地区である。

- 1 ア・イ
- 2 ア・ウ
- 3 ア・エ
- 4 ア・オ
- 5 イ・ウ
- 6 イ・エ
- 7 イ・オ
- 8 ウ・エ
- 9 ウ・オ
- 0 エ・オ

[問 2] 次の図は、下の地図中 1～4 のいずれかの断面を模式的に示したものである。この図が表しているものとして最も適切なものは、下の 1～4 のうちではどれか。ただし、図は高さを強調して表現しており、図と地図中の線の○印と●印の位置は対応しているものとする。解答番号は  。

図

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

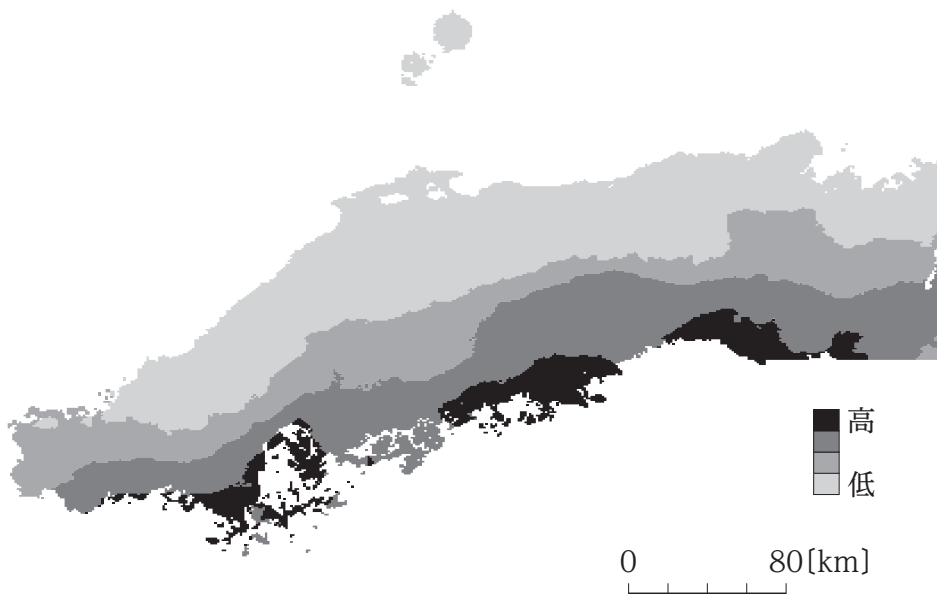
(東京法令出版「新編地理資料2018」から作成)



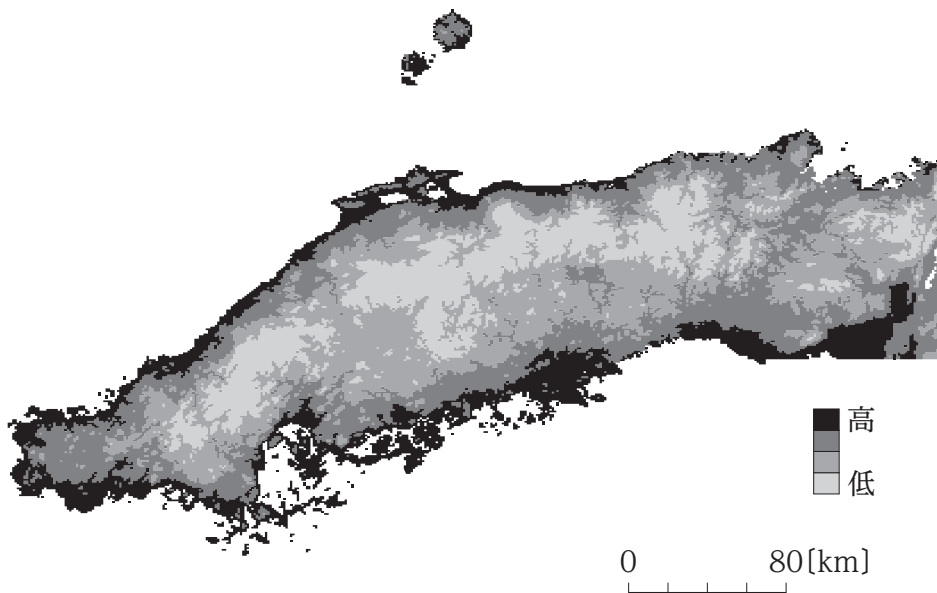
余 白

[問 3] 次の図ア～ウは、それぞれ1月の中国地方における月降水量、月日照時間及び月平均気温の平年値の高位から低位を相対的に表現したものである。ア～ウが示しているものの組合せとして適切なものは、次のページの1～6のうちのどれか。解答番号は 3。

ア

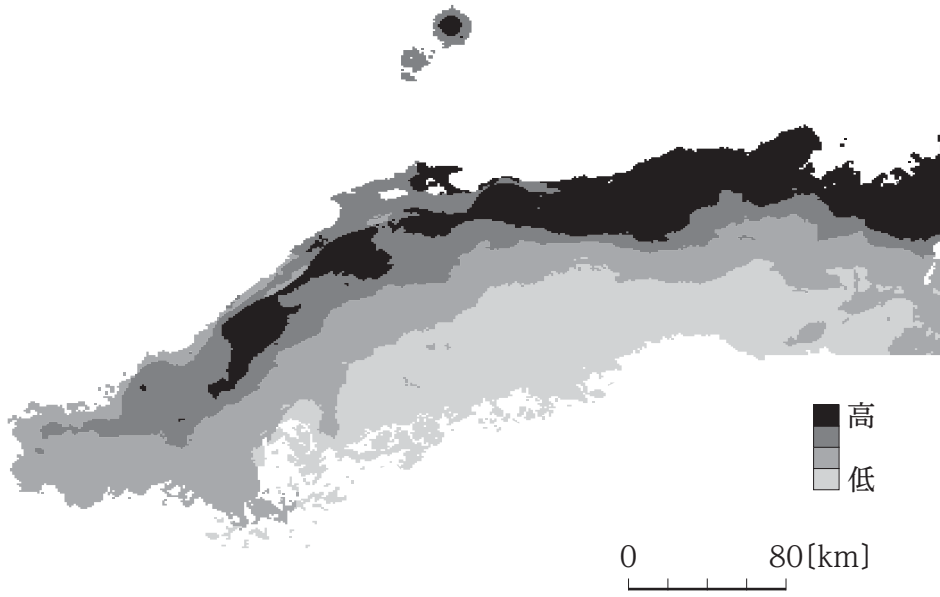


イ





ウ



	ア	イ	ウ
1	月降水量	月日照時間	月平均気温
2	月降水量	月平均気温	月日照時間
3	月日照時間	月降水量	月平均気温
4	月日照時間	月平均気温	月降水量
5	月平均気温	月降水量	月日照時間
6	月平均気温	月日照時間	月降水量

[問 4] 次の表は、米の生産量及び輸出量の上位12か国を、下の図は、2016年における収穫面積 1 ha 当たり穀物収量と耕地 1 ha 当たり肥料消費量を示しており、それぞれ **ア**～**オ**には、インド、タイ、中国、アメリカ、ブラジルのいずれかが当てはまる。タイと、中国との組合せとして適切なものは、次のページの **1**～**0** のうちのどれか。解答番号は 4。

表

米の生産 (2016年)		米の輸出 (2016年)	
国	米の生産量 [千t]	国	米の輸出量 [千t]
<b>ア</b>	211,094	<b>ウ</b>	9,870
<b>イ</b>	163,700	<b>イ</b>	9,869
インドネシア	79,355	ベトナム	5,211
バングラデシュ	50,453	パキスタン	3,947
ベトナム	43,112	<b>オ</b>	3,316
<b>ウ</b>	26,653	ウルグアイ	900
ミャンマー	25,673	イタリア	651
フィリピン	17,627	<b>エ</b>	630
ナイジェリア	11,346	パラグアイ	554
<b>エ</b>	10,622	カンボジア	530
パキスタン	10,274	アルゼンチン	527
<b>オ</b>	10,167	<b>ア</b>	460

(矢野恒太記念会「世界国勢図会 2019/20年版」から作成)

図

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

(矢野恒太記念会「世界国勢図会 2019/20年版」から作成)

	タイ	中国
1	ア	イ
2	ア	オ
3	イ	ア
4	イ	ウ
5	ウ	ア
6	ウ	エ
7	エ	イ
8	エ	オ
9	オ	ウ
0	オ	エ

**2** 歴史的分野に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 次の文章の下線部①～④に関する記述として適切なものは、下の 1～4 のうちのどれか。解答番号は  。

パクスとは平和を意味するラテン語であり、「パクス・ローマナ」は、2世紀にローマ帝国の支配によってもたらされた、全般的に比較的平和な状態を指す語として用いられる。歴史上、この「パクス・ローマナ」になぞらえた言葉としては、「パクス・モンゴリカ」<sup>②</sup>、「パクス・ブリタニカ」<sup>③</sup>、「パクス・アメリカナ」<sup>④</sup>などがある。

- 1 下線部①の下で、五賢帝の2人目のアントニヌス・ピウス帝は、ダキアやメソポタミアを征服し、この国の領土は最大になった。
- 2 下線部②の下で、5代目の大ハンのフビライは、冬の都として現在の南京の地に大都を建設し、中国王朝の伝統的な官制を受け継いで行政のために中書省を置いた。
- 3 下線部③の下で、ディズレーリ首相は、スエズ運河会社株の買収、インド帝国の樹立、キプロスの獲得など、帝国主義外交を行った。
- 4 下線部④の下で、ニューフロンティアをスローガンに掲げて大統領に就任したトルーマンは、キューバ危機でソ連との武力衝突を回避した。

[問 2] 13世紀から15世紀の著作物に関する次の記述ア～エを、著作物の成立年代の古いものから順に並べたものとして適切なものは、下の 1～4 のうちのどれか。解答番号は  。

- ア 北畠親房は『神皇正統記』を著し、神代から後村上天皇までの皇位継承の経緯を叙述し、南朝の正統性を主張した。
- イ 二条良基は『百寮訓要抄』を著し、官職を仮名文で略説する一方、当時の朝官の零落ぶりを慨嘆した。
- ウ 慈円は『愚管抄』を著し、保元の乱後、武者の世が出現したと指摘し、道理の理念によって歴史の展開を叙述した。
- エ 一条兼良は『樵談治要』を著し、放火や略奪を行う足輕を停止すべきであると言及するなど、将軍の諮問に答え、政治の要諦を説いた。

- 1 ア → ウ → エ → イ
- 2 ア → エ → ウ → イ
- 3 ウ → ア → イ → エ
- 4 ウ → エ → ア → イ

[問 3] 次の文章は、宋の時代に関するものである。文章中の空欄 **ア** と **イ** に当てはまるものの組合せとして適切なものは、下の 1～4 のうちのどれか。解答番号は **7**。

中国の江西省北東部に位置する **ア** は、宋代になると製陶の技術が急速に向上し、中国第一の窯業都市として発展した。その後、朝鮮半島では北宋の青磁や白磁の影響を受け **イ** 青磁が発展し、独特の色調と独自の技法の青磁が完成した。

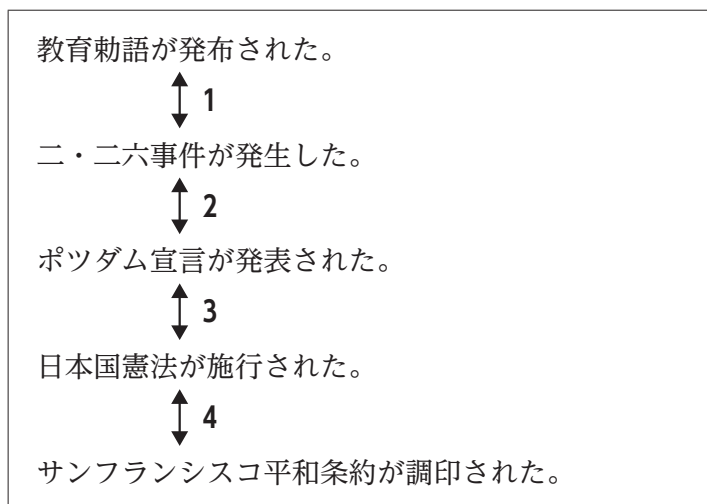
- |   |          |     |          |    |
|---|----------|-----|----------|----|
| 1 | <b>ア</b> | 開封  | <b>イ</b> | 新羅 |
| 2 | <b>ア</b> | 開封  | <b>イ</b> | 高麗 |
| 3 | <b>ア</b> | 景德鎮 | <b>イ</b> | 新羅 |
| 4 | <b>ア</b> | 景德鎮 | <b>イ</b> | 高麗 |

[問 4] 次の史料は、ある公的文書の一部である。この文書が出された時期として適切なものは、下の図中 1～4 のうちのどれか。解答番号は **8**。

史料

朕ト爾等国民トノ間ノ紐帯ハ、終始相互ノ信賴ト敬愛トニ依リテ結バレ、単ナル神話ト伝説トニ依リテ生ゼルモノニ非ズ。天皇ヲ以テ現御神トシ、且日本国民ヲ以テ他ノ民族ニ優越セル民族ニシテ、延テ世界ヲ支配スベキ運命ヲ有ストノ架空ナル觀念ニ基クモノニモ非ズ。朕ノ政府ハ国民ノ試煉ト苦難トヲ緩和センガ為、アラユル施策ト経営トニ万全ノ方途ヲ講ズベシ。

図



**3** 公民的分野に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 宗教に関する記述として適切なものは、次の**1**～**4**のうちのどれか。解答番号は **9**。

- 1 ユダヤ教は、ヤハウェを天地の創造主、支配者、唯一絶対の神として崇める一神教を特徴としている。
- 2 キリスト教のうちローマ・カトリック教会は、パウロの後継者であるローマ教皇を最高指導者とし、各地の司教や司祭からなるヒエラルヒーをもつ。
- 3 バラモン教は、生き物を傷付けたり殺したりしてはならないとする不殺生を倫理の中心にすえ、厳しい苦行と禁欲の実践を説いている。
- 4 上座部仏教は、修行の結果、人々の尊敬に値する境地に達した人物である菩薩になることを最大の目標としている。

[問 2] 我が国の選挙制度に関する記述として適切なものは、次の**1**～**4**のうちのどれか。解答番号は **10**。

- 1 小選挙区制は、死票が少なく、有権者の民意を比較的正確に反映することができるが、小党分立を招き、安定した政権を生み出しにくい傾向がある。
- 2 被選挙権は、衆議院議員や市町村長については満25歳以上、参議院議員や都道府県知事については満30歳以上の国民に認められている。
- 3 政党が候補者の名簿順位を決めない非拘束名簿式比例代表制は、衆議院議員選挙で採用されており、参議院議員選挙では採用されていない。
- 4 1990年代以降では、衆議院議員選挙における一票の最大の格差は、参議院議員選挙における一票の最大の格差と比べると大きくなっている。

[問 3] 我が国の消費者保護に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は  。

- 1 事業者を規制することで消費者を保護しようとする消費者基本法が改正されて、消費者の権利が初めて明記された消費者保護基本法として成立した。
- 2 通信販売で消費者が購入申込みをして商品を受け取り、代金を支払った後でも、一定期間内であれば無条件に契約を解除できる制度をクーリングオフ制度という。
- 3 アメリカのケネディ大統領によって消費者の四つの権利が提唱された1960年代に、我が国の消費者行政の一元化を目的として消費者庁が設立された。
- 4 国民生活センターは国民生活に関する情報の提供等を目的とし、国や全国の消費生活センター等と連携して、消費者問題における中核的機関としての役割を果たしている。

[問 4] 次の文章は、国際収支に関するものである。下の表は、我が国における2010年から2017年にかけての国際収支の推移に関するものであり、表中の**ア**～**エ**には、貿易・サービス収支、第一次所得収支、第二次所得収支、直接投資のいずれかが当てはまる。貿易・サービス収支と、直接投資との組合せとして適切なものは、下の1～4のうちのどれか。解答番号は  。

国際収支は、国の一年間における国内居住者と非居住者の間で行われた全ての経済取引を記録した統計で、経常収支、資本移転等収支、金融収支の大項目で構成される。このうち、経常収支は貿易・サービス収支、第一次所得収支、第二次所得収支からなり、金融収支は直接投資、証券投資、金融派生商品、外貨準備等からなる。

表 [億円]

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
経常収支	190,903	101,333	46,835	32,343	39,215	165,194	210,615	219,514
<b>ア</b>	136,173	146,210	141,322	164,755	194,148	213,032	188,183	198,374
<b>イ</b>	65,646	-33,781	-83,041	-122,521	-134,988	-28,169	43,888	42,297
<b>ウ</b>	62,511	93,101	94,999	130,237	125,877	161,319	145,293	168,271
<b>エ</b>	-10,917	-11,096	-11,445	-9,892	-19,945	-19,669	-21,456	-21,157

(矢野恒太記念会「日本国勢図会 2014/15年版」「日本国勢図会 2018/19年版」から作成)

	貿易・サービス収支	直接投資
1	<b>ア</b>	<b>ウ</b>
2	<b>ア</b>	<b>エ</b>
3	<b>イ</b>	<b>ウ</b>
4	<b>イ</b>	<b>エ</b>

## 特別支援教育の専門に関する問題

I 特別支援教育に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 個別の教育支援計画に関する次の記述ア～エのうち、正しいものを選んだ組合せとして適切なものは、下の 1～6 のうちのどれか。解答番号は 13。

- ア** 個別の教育支援計画は、特別な教育的支援を必要とする児童・生徒一人一人の教育的ニーズを具体的な指導に反映させるために、単元や学期、学年ごとに学級担任が作成するものである。
- イ** 個別の教育支援計画は、障害のある児童・生徒一人一人のニーズを正確に把握し、教育の視点から適切に対応していくという考えの下、長期的な視点で乳幼児期から学校卒業後までを通じて一貫して的確な教育的支援を行うことを目的として作成されるものである。
- ウ** 個別の教育支援計画は、特別支援学校に在学する児童・生徒については作成しなければならないが、小・中学校若しくは義務教育学校又は中等教育学校の前期課程における特別支援学級の児童・生徒と、小・中学校及び高等学校において通級による指導が行われている児童・生徒については、必要に応じて作成するものとされている。
- エ** 個別の教育支援計画は、教育のみならず、福祉、医療、労働等の様々な側面からの取り組みが必要であり、関係機関、関係部局の密接な連携協力を確保することが不可欠であるとともに、作成に当たっては、保護者の積極的な参画を促し、計画の内容について保護者の意見を十分に聞いて計画を作成又は改訂することが必要である。

- 1 ア・イ
- 2 ア・ウ
- 3 ア・エ
- 4 イ・ウ
- 5 イ・エ
- 6 ウ・エ



[問 2] 次の記述**ア**～**エ**のうち、「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進（報告）」（中央教育審議会 平成24年7月）に照らして正しいものを選んだ組合せとして最も適切なものは、下の**1**～**6**のうちではどれか。解答番号は  。

**ア** 共生社会とは、これまで必ずしも十分に社会参加できるような環境になかった障害者等が、積極的に参加・貢献していくことができる社会であり、誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様な在り方を相互に認め合える全員参加型の社会のことをいう。

**イ** インクルーシブ教育システムとは、人間の多様性の尊重等の強化、障害者が精神的及び身体的な能力等を可能な最大限度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能とするという目的の下、障害のある者が社会に貢献できるようにするための場を提供する仕組みのことである。

**ウ** インクルーシブ教育システムにおいては、共生社会の実現を追求することから、個別の教育的ニーズのある児童・生徒であっても、学校卒業後の自立と社会参加を見据えて、全ての児童・生徒が同じ場で同じ内容を共に学べるようなシステム構築や環境整備を行うことが求められる。

**エ** 特別支援教育を推進していくことは、子供一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援を行うものであり、この観点から教育を進めていくことにより、障害のある子供や学習上又は生活上の困難のある子供だけではなく、全ての子供にとって、良い効果をもたらすことができるものと考えられる。

1 ア・イ

2 ア・ウ

3 ア・エ

4 イ・ウ

5 イ・エ

6 ウ・エ

[問 3] 障害のある人の生涯学習の推進に関する次の記述**ア**～**エ**のうち、「障害者の生涯学習の推進方策について－誰もが、障害の有無にかかわらず共に学び、生きる共生社会を目指して－（報告）」（文部科学省 学校卒業後における障害者の学びの推進に関する有識者会議平成31年3月）に照らして正しいものを選んだ組合せとして最も適切なものは、下の**1**～**6**のうちではどれか。解答番号は  。

**ア** 障害のある人の学びの環境整備を行うに当たっては、社会でよりよく生きることができるよう、本人の学びたい内容ではなく、社会生活に即した内容の学習を行うことが大切であり、学びが円滑に進むように、支援者が中心となって課題等を精選し、適切に準備を行う必要がある。

**イ** 学校教育における学びと学校卒業後における社会での学びとは質や内容が異なるため、これまで学校で行われてきた教育内容とは切り離し、社会で求められる内容を踏まえて、学校卒業後の新たな環境で必要とされる知識や技能を生涯にわたって学び続けられるようにする必要がある。

**ウ** 障害のある人は、学校卒業後、企業等において就労したり障害福祉サービスを利用したりしながら社会生活を送ることが多いため、日々の生活において円滑かつ継続的に学ぶことができるよう、生涯にわたる学びと福祉や労働、医療などの分野における取組との連携を強化する必要がある。

**エ** 障害のある人の学びの場づくりを進めることと並行して、障害に関する社会全体の理解の促進を図ることが極めて重要であり、障害のある人がどのようなことに困難を感じており、どのような配慮や支援があれば周りの人と共に学んだり交流したりしやすくなるのか、といったことについて、家族や支援者などの関係者だけでなく、社会全体の理解を進めていく必要がある。

1 ア・イ

2 ア・ウ

3 ア・エ

4 イ・ウ

5 イ・エ

6 ウ・エ

**Ⅱ**

学習指導要領に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 次の記述**ア**～**エ**のうち、特別支援学校高等部学習指導要領の「総則」の「教育課程の編成」のうちの「生徒の調和的な発達の支援」に示されているものを選んだ組合せとして適切なものは、下の**1**～**6**のうちのどれか。解答番号は **16**。

**ア** 生徒相互のよりよい人間関係を育てるため、主に集団の場面で必要な指導や援助を行うカウンセリングと、個々の生徒の多様な実態を踏まえ、一人一人が抱える課題に個別に対応した指導を行うガイダンスの双方により、生徒の発達を支援すること。

**イ** 生徒が、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう、道徳教育を要としつつ生徒が自己の在り方生き方を考える教育の充実を図ること。

**ウ** 生徒が、学校教育を通じて身に付けた知識及び技能を活用し、もてる能力を最大限伸ばすことができるよう、生涯学習への意欲を高めるとともに、社会教育その他様々な学習機会に関する情報の提供に努めること。

**エ** 複数の種類の障害を併せ有する生徒については、専門的な知識、技能を有する教師や特別支援学校間の協力の下に指導を行ったり、必要に応じて専門の医師やその他の専門家の指導・助言を求めたりするなどして、学習効果を一層高めるようにすること。

**1** ア・イ

**2** ア・ウ

**3** ア・エ

**4** イ・ウ

**5** イ・エ

**6** ウ・エ

[問 2] 次の記述ア～エのうち、特別支援学校高等部学習指導要領の「総則」の「教育課程の編成」のうちの「高等部における教育の基本と教育課程の役割」に示されているものとして適切なものには①を、適切でないものには②をそれぞれマークせよ。解答番号はアが  、イが  、ウが  、エが  。

**ア** 学校における体育・健康に関する指導を、生徒の発達の段階を考慮して、保健体育の時間において適切に行うことにより、健康で安全な生活と豊かなスポーツライフの実現を目指した教育の充実に努めること。

**イ** 生徒の発達の段階を考慮して、生徒の多様な体験活動など、学習の基盤をつくる活動を充実するとともに、家庭との連携を図りながら、生徒の学習習慣が確立するよう配慮すること。

**ウ** 学校における自立活動の指導は、障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服し、自立し社会参加する資質を養うため、自立活動の時間はもとより、学校の教育活動全体を通じて適切に行うものとする。

**エ** 生徒の人間として調和のとれた育成を目指し、生徒の障害の状態や特性及び心身の発達の段階等並びに学校の基礎的環境整備や地域の実態を十分考慮して、適切な教育課程を編成するものとする。

Ⅲ

次の事例を読み、下の各問に答えよ。

生徒Aは知的障害特別支援学校中学部に在籍する知的障害のある生徒である。

生徒Aの様子

- ・ 知的障害の程度は、言葉での意思疎通が困難で、日常生活面など一部支援が必要。
- ・ 基本的な生活習慣はある程度自立しているが、衣服の着脱では教師の支援が必要。
- ・ 手先を使った活動では、①ぎこちなさや不器用さがみられる。
- ・ 音声言語は不明瞭で、発声や指さし、身振りやしぐさ、絵カード等で簡単なコミュニケーションをとろうとするが、②何を伝えたいのかが相手に伝わりにくいことが多い。
- ・ 音声言語による簡単な指示を理解することができる。
- ・ 集団での学習場面において、順番を待つなどのルールや決まり事を守るのが難しい。
- ・ 自分の気持ちや思いを一方向的に通そうとする場面がある。
- ・ 特定の教師との関わりが中心である。
- ・ 友達と協力して活動することが難しい。
- ・ 新しい場所や活動には不安になりやすく、積極的に取り組むことはあまりみられないが、見通しがもてるようになると集中して取り組むことができる。
- ・ 自分の思い通りにならないと情緒が不安定になり、混乱する場合がある。

(「特別支援学校教育要領・学習指導要領解説自立活動編(幼稚部・小学部・中学部)

(文部科学省 平成30年3月)」から作成)

[問 1] 次の記述ア～エのうち、下線部①について、「生徒Aの様子」や知的障害の特性を踏まえた生徒Aへの指導として、正しいものを選んだ組合せとして最も適切なものは、下の1～6のうちではどれか。解答番号は  。

- ア 毎回違った手先を使う学習を用意して、飽きずに課題に取り組めるようにする。
- イ はさみを使う指導では、切る形を直線から曲線へと段階的に指導する。
- ウ ひもにビーズを通す活動などで、両手や目と手の協応動作ができるように指導する。
- エ 衣服の着脱では、ボタンはめができるように指導してから、ボタン外しを指導する。

- 1 ア・イ
- 2 ア・ウ
- 3 ア・エ
- 4 イ・ウ
- 5 イ・エ
- 6 ウ・エ

[問 2] 次の記述ア～エのうち、下線部②について、「生徒Aの様子」や知的障害の特性を踏まえた生徒Aへの指導として、正しいものを選んだ組合せとして最も適切なものは、下の1～6のうちではどれか。解答番号は  。

ア 欲しいものを要求する場面で、ふさわしい身振りを指導する。

イ 発声が要求の表現となるように、教師が意味付ける。

ウ 相手の立場に合わせた言葉遣いなど、場面にふさわしい表現方法を身に付けさせる。

エ 内言語や言葉の理解には困難がないので、補助的手段を活用して意思の表出を促す。

1 ア・イ

2 ア・ウ

3 ア・エ

4 イ・ウ

5 イ・エ

6 ウ・エ

[問 3] 生徒Aは、高等部での学習や卒業後の生活を想定すると、他者からの指導や助言を受け入れられる人間関係の形成を図りながら、集団への参加を促し、ルールを守ることなどといった社会性を身に付けていく必要がある。そこで現時点で指導すべき目標を「教師や友達からの助言を受けながら、落ち着いて順番を守ることができる。」と設定した。この目標を達成するための具体的な指導内容として、次の記述ア～エのうち、正しいものを選んだ組合せとして最も適切なものは、下の1～6のうちではどれか。解答番号は  。

ア 状況に合わせてながら、友達に伝えたいことを絵カードから選択して伝える。

イ 文章で手順の書かれたメモを用意し、自分で読み上げながら作業をする。

ウ 学習場面で絵カードを用いて見通しをもてるようにし、順番を意識できるようにする。

エ 「うれしい」「くやしい」といった感情を教師と共有し、感情に名前があることを知る。

1 ア・イ

2 ア・ウ

3 ア・エ

4 イ・ウ

5 イ・エ

6 ウ・エ

**IV** 障害に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 視覚障害のある児童・生徒に対する点字指導に関する次の記述**ア**～**エ**のうち、「点字学習指導の手引（平成15年 改訂版）」（文部科学省 平成15年）に照らして正しいものを選んで組合せとして適切なものは、下の**1**～**6**のうちのどれか。解答番号は **24**。

**ア** 点字学習の導入に当たって、触運動の統制、触空間の形成、言語の発達などの点字学習のレディネスの形成が大切である。

**イ** 日本の点字は、日本語の音に一対一で対応しているので、「ラッパ」は2音、「きゅうきゅうしゃ」は3音のようにリズム打ちで理解させることが必要である。

**ウ** 点字の読みにおいて、点字盤の使用を考えて、初期の段階から両手読みではなく、利き手だけで読むことができるように指導していく。

**エ** 点字を書く学習の初期段階では、書いた点字を裏返さずにそのまま読むことができるため、凸面書きの点字タイプライタによる学習が効果的である。

**1** ア・イ

**2** ア・ウ

**3** ア・エ

**4** イ・ウ

**5** イ・エ

**6** ウ・エ

[問 2] 聴覚障害者である児童・生徒に対する指導上の配慮事項に関する次の記述**ア**～**エ**のうち、特別支援学校学習指導要領解説各教科等編（小学部・中学部）（文部科学省 平成30年3月）に照らして正しいものを選んだ組合せとして最も適切なものは、下の**1**～**6**のうちではどれか。解答番号は  。

**ア** 意思の相互伝達には、聴覚活用、読話、発音・発語、文字、キョード・スピーチ、指文字、手話などの方法があるが、指文字、手話など視覚を中心とした方法は必ず選択・活用することが大切である。

**イ** 児童・生徒の保有する聴覚の活用では、必ずしも補聴器や人工内耳に限らず、例えば、水泳等の補聴器を装用できない場合の指導においては、教師の声を直に聞かせるようにすることなども含んでいる。

**ウ** 視覚等を有効に活用するため、視聴覚教材や教育機器、コンピュータ等の情報機器や障害の状態に対応した周辺機器を適切に使用することによって、指導の効果を高めることが大切である。

**エ** 言葉の意味を理解したり、それによつて的確な言語概念を形成したりするためには、できるだけ多くの言葉を覚え、体験していない事柄なども言葉で表現できるようにすることが大切である。

- 1 ア・イ
- 2 ア・ウ
- 3 ア・エ
- 4 イ・ウ
- 5 イ・エ
- 6 ウ・エ



[問 3] 肢体不自由の主な起因疾患と特徴に関する記述として最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は  。

- 1 発育過程における脳の形成異常や様々な原因による脳損傷の後遺症を原因とする、進行性の脳の病変に基づく運動と姿勢の異常を脳性まひという。
- 2 遺伝性で、かつ筋原性の変性疾患であり、性染色体性のデュシャンヌ型及び筋強直性と、常染色体性の福山型及びベッカー型に大別される病態を筋ジストロフィーという。
- 3 椎弓の一部及び棘突起を欠損して脊柱管の後方の骨性保護が欠けたもので、嚢胞性と潜在性に大別される病態を二分脊椎という。
- 4 下半身の部分的な骨脆弱性、易骨折性を特徴とする疾患群で、コラーゲンの遺伝子異常により発症する病態を骨形成不全症という。

[問 4] 知的障害者である児童・生徒に対する教育を行う特別支援学校で行っている「各教科等を合わせた指導」に関する次の記述**ア**～**エ**のうち、正しいものを選んだ組合せとして最も適切なものは、下の**1**～**6**のうちではどれか。解答番号は  。

**ア** 日常生活の指導は、生活科を中心として各教科等の内容が取り扱われ、衣服の着脱、手洗いなどの基本的な生活習慣の内容や、挨拶、きまりを守ることなどの日常生活や社会生活において必要かつ基本的な内容を計画的に指導することで、児童・生徒の日常生活が充実し、高まるようにするものである。

**イ** 遊びの指導は、遊びを学習活動の中心に据えて取り組むことを通して、心身の発達を促していくものであり、指導の成果が、学習面、生活面の基盤となるよう、指導者が常に場や遊具等を限定することが必要である。

**ウ** 生活単元学習は、児童・生徒が生活上の目標を達成したり、課題を解決したりするために、一連の活動を組織的・体系的に経験することによって、自立や社会参加のために必要な事柄を実際の・総合的に学習するものであり、広範囲に各教科等の目標や内容が扱われる。

**エ** 作業学習は、作業活動を学習活動の中心にしながら、児童・生徒の働く意欲を培い、将来の職業生活や社会自立に必要な事柄を総合的に学習するものであり、作業学習で学習したことの成果が児童・生徒の将来の進路先に直接つながるよう、作業技術を向上させることを目的とする。

1 ア・イ

2 ア・ウ

3 ア・エ

4 イ・ウ

5 イ・エ

6 ウ・エ

[問 5] 病弱者である児童・生徒に対する指導に関する次の記述**ア**～**エ**のうち、特別支援学校教育要領・学習指導要領解説自立活動編（幼稚園・小学部・中学部）（文部科学省 平成30年3月）に照らして正しいものを選んだ組合せとして最も適切なものは、下の**1**～**6**のうちではどれか。解答番号は 

28
----

。

**ア** 小児がんの経験がある児童・生徒の場合、治療後に起きる成長障害や内分泌障害等の晩期合併症のリスクがあることを理解して、体調の変化や感染症予防等に留意するなど、病気の予防や適度な運動や睡眠等の健康管理を自らできるようにする必要がある。

**イ** てんかんのある児童・生徒の場合、定期的な服薬により発作はコントロールできることが多いが、短時間意識を失う小発作の場合には、発作が起きているのを本人が自覚しにくいことから、自己判断して服薬を止めてしまうことがあるため、定期的な服薬の必要性について理解させるとともに、確実に自己管理ができるよう指導する必要がある。

**ウ** 糖尿病の児童・生徒の場合、従来から多い2型とともに、近年は食生活や運動不足等の生活習慣と関連する1型が増加しているため、血糖値を毎日測定して、病状に応じた対応ができるようにするとともに、適切な食生活や適度の運動を行うなどの生活管理を主体的に行い、病気の進行を防止することが重要である。

**エ** 二分脊椎の児童・生徒の場合、尿路感染の予防のために排泄指導、清潔の保持、水分の補給及び定期的に検尿を行うことに関する指導をするとともに、座位を変えることにより褥瘡<sup>じよくそう</sup>ができることがあるため、頻繁に姿勢変換を行わないよう指導する必要がある。

1 ア・イ

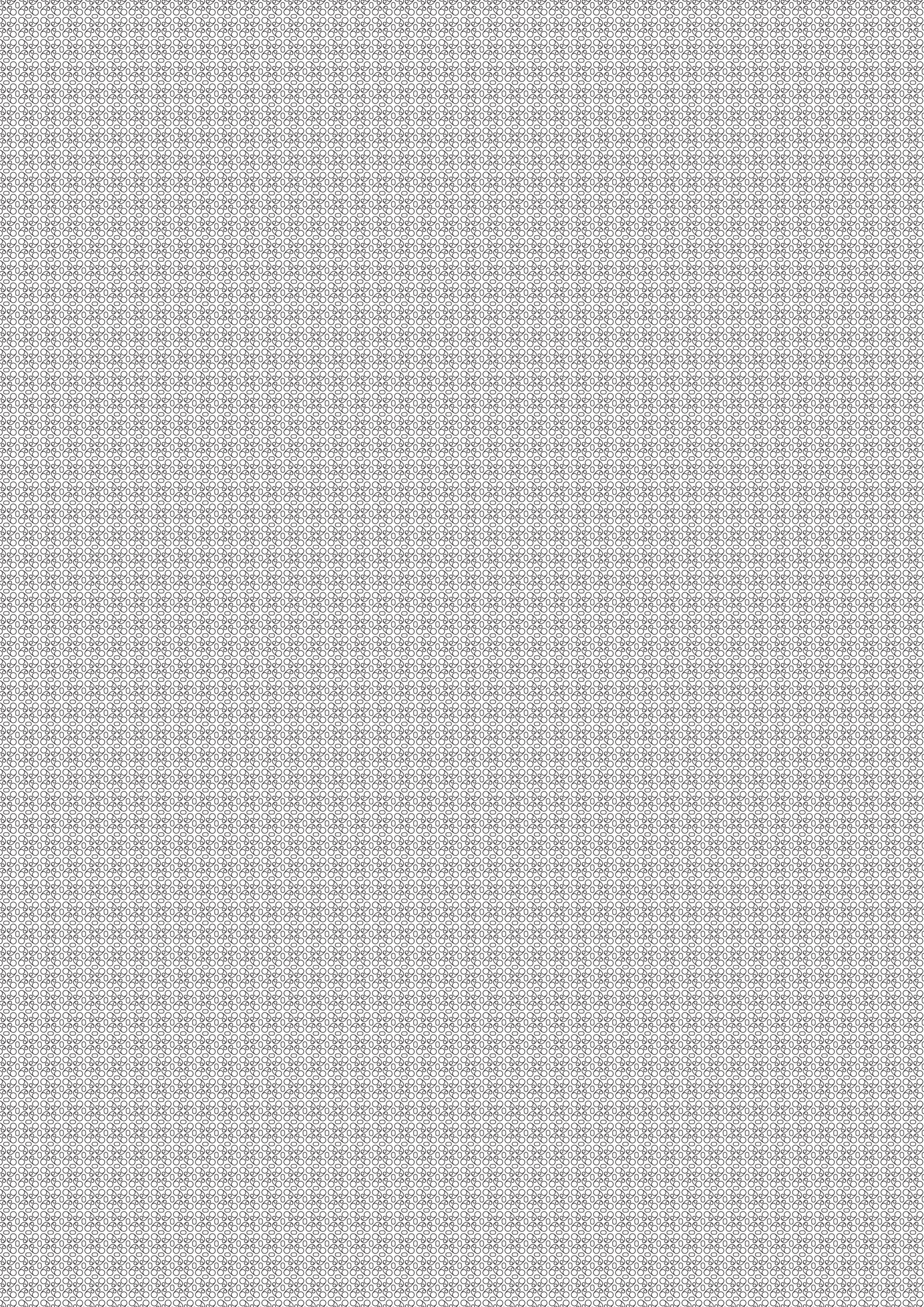
2 ア・ウ

3 ア・エ

4 イ・ウ

5 イ・エ

6 ウ・エ



3 問題文中の  $\boxed{2}$ 、 $\boxed{34}$  などの  $\square$  には、数字又は符号（-）が入ります。次の(1)~(4)の方法でマークしてください。

(1)  $\boxed{2}$ 、 $\boxed{3}$ 、 $\boxed{4}$ 、……の一つ一つは、それぞれ1~9、0の数字又は符号（-）のいずれか一つに対応します。それらを  $\boxed{2}$ 、 $\boxed{3}$ 、 $\boxed{4}$ 、……で示された解答欄にマークしてください。

例えば、 $\boxed{234}$  に -84 と解答する場合には、次の(例2)のようにマークします。

(例2)

解答番号	解答欄
$\boxed{2}$	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ●
$\boxed{3}$	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ● ⑨ ⑩ ⊖
$\boxed{4}$	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

なお、同一の問題文中に  $\boxed{2}$ 、 $\boxed{34}$  などが2度以上現れる場合、原則として、2度目以降は、 $\boxed{2}$ 、 $\boxed{34}$  のように細字で表記します。

(2) 分数形で解答する場合は、符号は分子に付け、分母に付けてはいけません。また、分数は既約分数で答えてください。

例えば、 $\frac{\boxed{56}}{\boxed{7}}$  に  $-\frac{4}{5}$  と解答する場合には、 $\frac{-4}{5}$  として、次の(例3)のように

マークします。

(例3)

解答番号	解答欄
$\boxed{5}$	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ●
$\boxed{6}$	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖
$\boxed{7}$	① ② ③ ④ ● ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

(3) 小数の形で解答する場合は、特に指示されていなければ、指定された桁数の一つ下の桁を四捨五入して答えてください。また、必要に応じて、指定された桁まで⑩にマークしてください。

例えば、 $\boxed{8.910}$  に 2.6 と解答する場合には、2.60 として答えてください。

(4) 根号を含む形で解答する場合は、根号の中に現れる自然数が最小となる形で答えてください。

4 「ただし、選んだ数字の小さい順にマークすること。解答番号は  $\boxed{11}$ 、 $\boxed{12}$ 、 $\boxed{13}$ 。」と表示のある間に対して、 $\mathbf{2}$ と $\mathbf{5}$ と $\mathbf{8}$ と解答する場合には、次の(例4)のように「 $\mathbf{2}$ 、 $\mathbf{5}$ 、 $\mathbf{8}$ 」の順にマークします。

このとき、「 $\mathbf{2}$ 、 $\mathbf{5}$ 、 $\mathbf{8}$ 」以外の「 $\mathbf{5}$ 、 $\mathbf{2}$ 、 $\mathbf{8}$ 」や「 $\mathbf{8}$ 、 $\mathbf{2}$ 、 $\mathbf{5}$ 」などの順にマークした場合には、不正解となります。

(例4)

解答番号	解答欄
$\boxed{11}$	① ● ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖
$\boxed{12}$	① ② ③ ④ ● ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖
$\boxed{13}$	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ● ⑨ ⑩ ⊖

## 2（3採用）【特別支援学校 中・高 社会】

問題番号		解答番号	正答1	正答2	正答3	配点	備考	
大問番号	小問番号							
1	問1	1	0			5		
	問2	2	3			5		
	問3	3	4			5		
	問4	4	5			5		
2	問1	5	3			5		
	問2	6	3			5		
	問3	7	4			5		
	問4	8	3			5		
3	問1	9	1			5		
	問2	10	2			5		
	問3	11	4			5		
	問4	12	3			5		
I	問1	13	5			3		
	問2	14	3			3		
	問3	15	6			3		
II	問1	16	6			3		
	問2	ア	17	—			1	
		イ	18	—			1	
		ウ	19	1			1	
		エ	20	—			1	
III	問1	21	4			3		
	問2	22	1			3		
	問3	23	2			3		
IV	問1	24	3			3		
	問2	25	4			3		
	問3	26	3			3		
	問4	27	2			3		
	問5	28	1			3		